



熊本県警察本部 生活安全企画課
犯罪抑止対策室 室長補佐
警部 平田美和さん

多発する 特殊詐欺の実態—

昨年の県内の特殊詐欺被害は、過去5年で最悪の数字となりました。熊本県警では被害撲滅に向けて、取り組みを進めています。

「減少するかに見えた特殊詐欺被害がここ3年で増加傾向になっていきます」と話すのは、県警察本部犯罪抑止対策室の平田美和さん。「詐欺の犯人は次から次に新しい手段でまそうとしてくるため、イタチごっこ状態が続いています。その他にも、メールやSNSなどを利用した

昨年の被害最高額は
約4千万円

いまだに多くの人が「特殊詐欺」の被害に遭っています。特殊詐欺とは、電話やメール、ハガキなどを使って被害者を信じ込ませ、お金をだまし取る犯罪の総称のこと。県警が令和4年に被害届を受理した特殊詐欺の認知件数は100件、被害額は約3億3千万円にのぼり、件数・金額ともに過去5年間で最悪の数字です。昨年は、県内の70代女性が過去5年で最高額となる4千万円の被害に遭っており、高額被害も相次いでいます。被害者の年齢を見ると、65歳以上が約8割。高齢者を標的に、言葉巧みに金銭を要求する傾向にあります。

「減少するかに見えた特殊詐欺被害がここ3年で増加傾向になっていきます」と話すのは、県警察本部犯罪抑止対策室の平田美和さん。「詐欺の犯人は次から次に新しい手段でまそうとしてくるため、イタチごっこ状態が続いています。その他にも、メールやSNSなどを利用した

「だまされない自信があった」
約9割が回答

相次ぐ被害にこう思ったことはないでしょうか。「単純な手口になぜ引かかるとか」「だまされる方が悪い」。詐欺に遭う人はみんな、「ニュースでこうしたことがある」とは知っていて、まさか自分が被害に遭うとは」と、口をそろえます。令和4年の県警の統計では詐欺に遭った人の約9割が「だまされない自信があった」と回答しています。「いつ、誰が被害を受けるかわかりません。特殊詐欺の被害が増加している現在、実態を知り、正しい知識を身に付けることが大切です」と平田さんは訴えます。

手口が拡大し、若い世代が被害を受けることも少なくありません」と語気を強めます。県警では、相次ぐ特殊詐欺に対応するため、24時間受け付け可能な相談窓口（電話で『お金』詐欺）ホットライン）を設置。特殊詐欺撲滅に向けて、取り組みを強化しています。

令和4年 県内の特殊詐欺被害総額

3億2,941万円



一寸先は、詐欺。

全国的に多発している「特殊詐欺」。詐欺は人の弱みにつけ込んで財産を奪う悪質な犯罪です。被害を防ぐためにできることを一緒に考えましょう。

マインドコントロールを
されているようだった

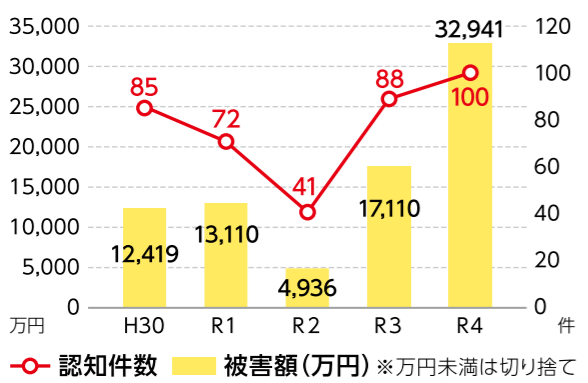
「自分がだまされるとは思っていませんでした」。ことし2月に、被害に遭った70代男性のKさんは振り返ります。

Kさんはある日、パソコンの画面に表示された「ウイルスを検知しました」という警告画面に驚き、表示された番号に電話します。最終的に、パソコン修理サポート費用の名目で、コンビニで購入した電子マネー（計14万円）をだまし取られました。犯人と会話したKさんは「ウイルスに感染して情報が筒抜けだと言われ、さらにパソコンの専門的な話に

もなり、不安でいっぱいになりました。まるでマインドコントロールされているようでした」と話します。「怪しいんじゃないの」と心配してくれた妻や、コンビニで高額の子マネー購入を注意してくれた店員の話も聞こうとはしませんでした。「早く言われたとおりにならないと、銀行口座のお金引き出され、もっと大変なことになる」と思ったそうです。

Kさんは自身の経験を踏まえ、誰もが詐欺に遭う可能性があると話します。「警察に被害届を出しましたが、だまされたお金は戻ってきていません。もう自分のような経験をする人は出てほしくないですね」

特殊詐欺の認知件数と被害額の推移(県内)



令和4年 特殊詐欺の被害状況(県内)

種別	認知件数	被害額
オレオレ詐欺	19	1億3,586万円
預貯金詐欺	1	130万円
架空料金請求詐欺	24	1億2,213万1,600円
融資保証金詐欺	1	308万円
還付金詐欺	35	3,264万2,172円
ギャンブル詐欺	2	61万円
キャッシュカード詐欺盗	18	3,378万8,000円
合計	100	3億2,941万1,772円

被害を未然に防ぐために

本人や周囲の人ができることはあるのでしょうか。消費生活センターの相談員と実際に詐欺の電話を受けた人に話を聞きました。

だまされる人の心理

「役場や銀行に確認すればいいのに、そんな余裕すらありませんでした」。60代男性のNさんは、昨年の9月に、行政や金融機関の職員をかたる還付金詐欺で約100万円の被害に遭いそうになりました。

最初は怪しいと思っていたNさんは不審な点を質問。しかし、もつともらしい理由を説明されて納得させられたり、急かされたりすることで、徐々に考える余裕がなくなっていくたそうです。

「詐欺被害に遭う多くの人の心は、パニック状態になっています」と話すのは合志市消費生活センターの川上直美相談員。「多くの詐欺では、不安、恐怖を植え付けて、精神的に追い詰めていきま

す。焦っているときに、正しい判断をするのは簡単なことではありません。心理的に追い込まれると、誰でもだまされる可能性があります」と続けます。

今回のケースでは、Nさんが携帯電話で話しながら現金自動預払機（ATM）を操作していたため、後ろに並んでいた女性が特殊詐欺を疑い、「やめた方がいい」と操作を中止しようとする。間一髪で被害を防ぐことができました。

川上相談員は「詐欺に遭わないためには、その場ですぐに判断せず、いったん冷静に考えましょう。お金が一度犯人の手に渡ってしまったら、取り戻すことはとても困難です。特に電話で『お金』の話が出た場合は、まず詐欺の可能性を疑ってください」と対策を呼びかけています。

気軽に
ご相談ください!



合志市
消費生活センター
相談員
川上直美さん

「おかしいな」と思ったら
すぐに相談を

犯人は、私たちに確認する隙を与えないように、巧妙に誘導してきます。もしも被害に遭ってしまった場合、残念ながら犯人からお金が戻ってくることはほとんどありません。

少しでも疑いを持ったなら、話の途中でも電話を切り、家族や警察、消費生活センターへ確認・相談してください。大事な資産を守るために「もしかしたら私も被害に遭うかもしれない」と考え、特殊詐欺の対策をしていきましょう。

特殊詐欺は
私たちの近くで発生しています

「普段通りに電話に出ただけで、思いがけず詐欺被害に遭うこともあるんです」と、県警の平田警部は取材の中で話していました。近年の特殊詐欺の手口は、多様化・巧妙化しています。大切なのは「自分だけは大丈夫」と過信しないこと。普段から家族や地域で詐欺に対する意識付けをすることも大切です。

今回の特集では、被害に遭った人と遭いそうになった人の事例を紹介しています。右記のNさんは、犯人に送金する直前に思いとどまることができました。周囲の人たちが「おかしいな」と気付いたときに勇気を持って声を掛けることで、今後の被害を防ぐことができるとも述べています。

詐欺は被害者の良心や不安、弱みに付け込む卑劣な犯罪です。特殊詐欺は私たちのすぐそばで起こっています。被害で悲しむ人がいなくなるように、一人ひとりができることを考えていきましょう。

詐欺の手口を知ろう!

「自分はだまされない」という自信が一番危険です。犯人は騙しのプロ。日頃から、誰でもだまされる可能性があると考え、詐欺の手口を知り、備えておきましょう。

電話で「お金」の話は

詐欺!

「ATMで還付金の手続きをして」は

詐欺!

「電子マネーカードを買って番号送って」は

詐欺!

「キャッシュカードの暗証番号を教える」は

詐欺!

「キャッシュカードを預かります」は

詐欺!

犯人からの電話を受けない対策を!

オレオレ詐欺や還付金詐欺は、ほとんどの場合、自宅の電話にかかってきます。犯人は録音されているのを嫌がる傾向にありますので、防犯効果のある機器を使い、犯人からの電話を受けないように対策をしましょう。

自宅の電話は常時留守電にしておく

自動通話録音機や防犯機能付き電話機を使用する

相手の番号が見える電話機を契約し、知らない番号は出ない

相談・問い合わせ先

これって詐欺かも…。そう思ったら、迷わず問い合わせを!

- ☐ 「電話で『お金』詐欺」ホットライン(24時間対応)
☎096(381)2567
- ☐ 菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450
【受付時間】(月)~(金)午前10時~正午、午後1時~4時
- ☐ 合志市消費生活センター ☎096(248)5442
【受付時間】(月)~(金)午前10時~正午、午後1時~4時

- ☐ 菊陽町・大津町・西原村消費生活相談窓口
菊陽町の相談日以外でも相談できます。
▶ 菊陽町(月・木) ☎096(232)2112
▶ 大津町(火・金) ☎096(293)3111
▶ 西原村(水) ☎096(279)3111
【受付時間】午前10時~正午、午後1時~4時

「ゆっぴー安心メール」は、最新の詐欺の手口をメールでお知らせしています。登録はこちら ➔



電話で「お金」の話が出たら、一人で判断せずに家族や友人の他、上記の窓口に相談しましょう。

インタビュー

郵便局員が還付金詐欺を未然に阻止

地域住民の財産を守りたい。詐欺が身近にあることを実感。

郵便局内で60代女性が携帯電話で話しながら現金自動預払機を操作しているのを見かけたので、私ともう一人の職員で声を掛けました。女性は、電話相手とのやりとりを優先していましたが、「還付金がもらえる」という声が聞こえてきたので詐欺だと確信し、操作を中止するように促したことで、被害を未然に防ぐことができました。

郵便局では、日頃から利用者に声掛けを行ったり、新しい詐欺の手口などを職員で共有したりするなどの対策を行っています。窓口が閉まる時間や係員がいない場所を指定してくることも多いようです。大切な資産を守るため、皆さんも「怪しい」と感じたら、勇気を出して声を掛けてほしいです。詐欺被害をなくすため、一緒に見守りましょう。



錦野郵便局・局長(大津町)
吉田知司さん